

心臓カテーテル時の鎮静を目的とした プロポフォール の使用について

実施内容	心臓カテーテルの施行時に、鎮静を目的としてプロポフォールを静脈内投与する。
対象患者	人工呼吸管理を行わない以下に該当する患者 ・心臓カテーテル検査・治療時に鎮静が必要と判断された患者
承認日	2026年7月8日（承認外医薬品使用評価委員会 承認）
実施期間	承認日以降、継続的に実施する
目的・概要	プロポフォールは速効性・調節性に優れた鎮静薬であり、集中治療や麻酔領域で広く使用されている。しかし、添付文書上は人工呼吸管理下での使用が基本とされており、非挿管患者への使用は適応外となる。一方で、臨床現場においては、重度の苦痛や不穏状態に対し、他の鎮静薬では十分な効果が得られない場合がある。そのような場合に、患者の苦痛緩和および安全な医療の提供を目的として、本適応外使用を実施する。
予想される 不利益と対策	【予想される不利益】 ・呼吸抑制、無呼吸 ・血圧低下、循環抑制 ・過鎮静による意識レベル低下 ・プロポフォール注入症候群（長時間・高用量時） 【対策】 ・呼吸状態（呼吸数、SpO₂）の持続的モニタリング ・血圧および心拍数の継続的観察 ・必要時には酸素投与、気道確保の準備 ・長時間投与時は代謝・循環状態の定期評価 ・異常時は速やかに投与中止および適切な対応を実施
■ 問い合わせ先	イムス葛飾ハートセンター TEL：03-3694-8100（代表） （受付時間：平日 9:00～17:00）